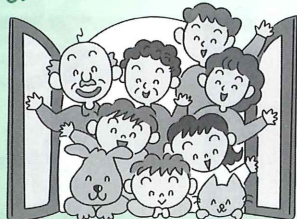


ひとりのため
みんなのため



大洲市

2006年2月号
No.13



社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会 〒795-0064 大洲市東大洲270-1
TEL 0893-23-0313/FAX 0893-23-0295



肱川ふれあいまつりにて、肱川中学校の皆さんに活動していただきました。



ボーイスカウトの皆さんの活動の様子です。毎年、市民のつどいでは大きな声で呼びかけいただいています。

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンとして、実施して
おりました赤い羽根共同募金は、たくさんの方のご協力をいた
だき、一三、五〇四、二四八円（十二月十六日現在）の募金が集ま
りました。皆さまから寄せられた寄付金は、地域の子供たちやお
年より、障害者等手助けを必要としている人を対象に、地域福祉
推進のために役立たせていただきます。

みなさまのあたたかい善意を
ありがとうございます。

赤い羽根共同募金



かわいい♪お湯のみにタオル、なん
だか使うのがもったいなくなりそう
です!!

今年もフジユニオン大洲支部から、市
内のホームヘルパー派遣世帯へ、来年の
干支が描いてあるお湯のみとタオルの年
末慰問品をいただき、大洲市内の各事業
所を通じてお届けしました。
届けていただいた日は、全国的に寒波
に見舞われ、大洲市内も銀世界。頭や肩
に雪をかぶり、凍える寒さの中届けてい
ただきました。
本当にありがとうございました。

フジユニオンからの 贈り物



福祉の心を育てる

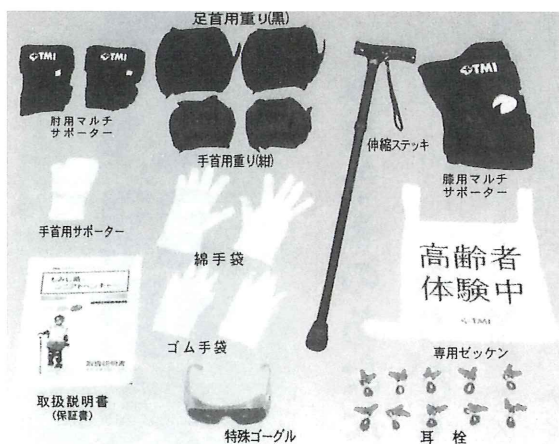
福祉教育とは福祉の心を育てる教育です。誰もが安心して幸せに生きる福祉社会をつくるために、福祉問題に目を向けた学習を通して地域福祉への関心と理解を深め、更に自ら参加実践することによって心豊かな人間形成を図るとともに、福祉問題を解決する力を身につけることが求められています。

小学校・中学校・高等学校の児童・生徒の皆さんが、福祉に関する理解を深め、ボランティアや福祉の心を育んでもらえるように、大洲市社会福祉協議会では学習内容についてのアドバイスや、手話・点訳・要約筆記・朗読等の講師紹介をおこなっています。また、次のような福祉体験器材の貸し出しもおこなっておりますので、大洲市社会福祉協議会（地域福祉係）までお問い合わせ下さい。

耳あてを付けると音が聞こえにくくなり、聴覚障害（難聴）の体験ができます。耳から入る情報がいかに大切かがわかります。

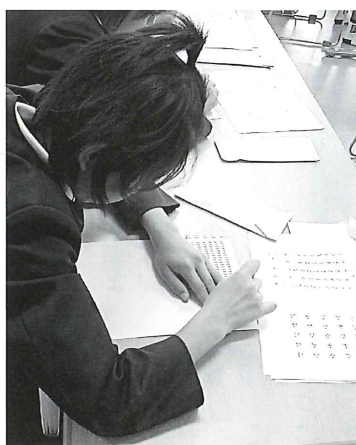
■高齢者体験シミュレーター

この「もみじ箱」を着ることで、高年齢者の筋力の衰えや視力の低下した状態を体験することができます。



実際に擬似体験グッズを使って
みた感想やボランティアサークル
の皆さんからご指導を受けた感想
を紹介いたします。

菅田小学校の生徒さんは、サ
クル『ひとみ』さんから点字につ
いて教えてもらいました。使われ
ている場所や実際に点字盤を使っ
ての体験でした。



菅田小六年門田萌

今日、点字の勉強をして点字はひらがなしかなくことや点字のうち方等を知りました。最初に「め」をうったとき手が疲れてしびれました。私はあいうえお、と五十音をうつのが楽しかったです。今まで四年生の時に点字のことを学んでいたのに、今日初めて知ったこ

とがたくさんありました。点字の資料などを見ながら自分の名前をうつこともできるようになりました。あと、私がうった名前を点字サークルの人は読んでいました。点字を読むことはできなかったけど先生たちの話を聞いて点字のことをわかりやすく知ることができてうれしかったです。



六年門田 悠

私は、点字体験をして、点字を覚えるのは大変なんだなと思いました。でも、目の見えない人にとって、とっても大切なことだということが分かりました。目の見えない人は、毎日とっても不安だと思います。それに、人のたすけも必要な時もあると思います。私たちにも、そんな人たちにできることはたくさんあると思うので、目の見えない人を見かけて、こまっていたらぜひ声をかけたいです。

そして、人の役にたてたらいいなあと思います。これからも、「共に生きる」という言葉を大切にしていきたいです。



☆疑似体験学習

長浜中学校、大洲農業高等学校の生徒の皆さんは、実際に疑似体験グッズを装着して、思うように動かない体や見えづらい視力、聞こえにくい聴力を体験しました。また、車いすでの段差体験では、生活の中にある段差の難しさ、バリアフリーの重要性を学習しました。



「バリアフリーを学んで」

長浜中学校 三年

大野真理奈 柴中 彩栄

久保美香子 東 悠里

成田 怜未 菊地 慧



私たちは総合学習の時間に、「人権について考える」という課題で、バリアフリーを選びました。調べていく中で、障害者が感じる

障壁となるものを除去することがバリアフリーであることを知り、さらに今注目されているユニバーサルデザインがあることも分かりました。それらを理解した上で、障害者体験をすることで、障害者の気持ちも体験することができるとは思いませんでした。自分たちでできる障害者体験として、目を隠すことを思いました。

そして、普段歩き慣れている校内と通学路を歩きました。体験することで、誰かの助けがないと足の前に踏み出すことが困難になったり、方向感覚が失われることで、目の見えない怖さを実感しました。他の体験もしたいという思いが深まり、大洲市社会福祉協議会の方々に来て頂きました。スタッフの方は、私たちのために、三台の車椅子と高齢者体験キットを持って来て下さいました。高齢者体験キットを装着して、手先の感覚・目・耳・手足が不自由になりました。車椅子に乗って、段差を越えたり、スロープを使ったりしました。その他にも、階段を上ったり、トイレの使いかたなど、介護する側の立場も教わりました。日常生活で最も私たちが必要とする、食べることや、見ること、聞

くことの難しさで、私たちがいかに幸せであるかを一日で一気に学びました。今、高齢者や障害者に対する偏見や差別が問題となっていていますが、一人一人に与えられた命と権利をお互いに尊重し合い、助け合いながら生きていく、それがまさに私の考える理想のバリアフリーです。

実技「高齢者疑似体験」

大洲農業高等学校

生活科学科一年生の皆さん



まぐろのおくりもの

十一月二十一日

十二月十六日まで（敬称略）

金銭の部

【一般分】

尾花文具店 常磐町（寄付金）

（故）小泉ツタエ 大洲

大洲歌唱クラブ

会長 鎌田 文俊

大洲（寄付金）

【指定分】

《肱川地区社協へ》

金森マサミ 山鳥坂（上鹿野川）

清水 良治 予子林（藤野原）

大森 広幸 中津（小倉）

《河辺地区社協へ》

本山 純主 北平（日其川）

《肱北地区社協へ》

矢野 宏 田口

《上須戒地区社協へ》

西田 正広 上須戒

《大川地区社協へ》

日ノ西ハツエ 松山市

《三善地区社協へ》

岡部 和宏 春賀

物品の部

若宮なよし会（代表 永木 初美）

山田 世津

若宮 手作り小物二九六点

（福祉施設三ヶ所へ）

あたたかい善意をありがとうございます。感謝をこめて掲載させていただきます。

社協だより

俳句ひろば

ばあちゃんや何処から来たんね
冬の駅

むさし

評 在来線の小さな駅の冬の景、何かの用なのかつくねんと座っているおばあさんに声をかける、それから話が広がる、寒い駅もほんわかと暖かくなります。

降る雪や付きては消えて靴の跡

正徳

評 昔から「雪は豊年の瑞」と云われています。積雪が二階の屋根にまで達する雪国では生活が大変ですが、この景からはしんと降る雪が伝わってきます。今年は早くから雪が降りました。私の家の近くでは子供達の遊ぶ元気な声にぎやかでした。

おでん鍋湯気の向かふに
笑顔かな

順二

評 大根、里芋、竹輪、がんも等々の煮込みおでん、季節を問わずお

いしいものです。会話もはずみです。鍋の向こう側もこちら側も笑顔、笑顔です。

福笑ひ今年も元気でよい年を

直紀

評 大きなお多福の顔の輪郭の画かれた絵の上に、目、鼻、口と切り抜かれた絵を、目隠しをして置いてゆく正月の遊び。出来上がりのおかしさを楽しむと共に、今年も元気で過ごせますようにと祈る作者です。

■俳句を募集しております。このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。

お問い合わせは

大洲市社会福祉協議会（本所）

地域福祉係まで

電話 一三二〇三二三



心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会（本所）	毎週月・水（一般相談） 大洲市総合福祉センター	火・木（法律相談） 10時～16時	金（介護相談）
長 浜 支 所	2月24日（金）	大洲市長浜体育館	9時～15時
肱 川 支 所	2月6日（月）	大洲市肱川公民館	13時30分～16時30分
河 辺 支 所	2月10日（金）	大洲市河辺老人福祉センター	9時～12時
お問合せ先 本所 TEL 23-0313（代表）※相談室直通 TEL 23-5629 長浜支所 TEL 52-1111（大洲市役所長浜支所内） 肱川支所 TEL 34-2312 河辺支所 TEL 39-2510			